



美保中学校区義務教育学校の通学に係るアンケート（結果概要）

1 美保中学校区義務教育学校の通学路の検討について（令和7年11月実施）

(1) 通学路を検討する際に必要な視点

- ・道幅が確保されているか
- ・歩道があるか
- ・横断歩道や信号機があるか
- ・人通りがあるか
- ・通学に支障のない交通量か
- ・見通しがよいか
- ・街灯があるか
- ・かけこみ110番が設置されているか
- ・道路表示（通学路表示、児童優先表示）があるか
- ・集団登校（登校班）の活用があるか

(2) 通学路を検討するに当たって、特に配慮が必要な箇所

配慮が必要な箇所	具体的な配慮事項・検討事項
米川	大雨の影響で増水の恐れがあり、通学の妨げになるため。
和崎かけはし通りと 跨線橋	多くの児童が横断することが予想されるが、跨線橋には歩道が片側しかない。そのため、その周辺で安全に横断できる箇所の確認が必要である。
内浜街道	崎津2区に5軒の空き家（そのうち3軒は空き家というより廃屋状態）、1区に1軒の廃屋があるため、防犯上の対策が必要である。 また、木が繁っている箇所もある。
JR 境線の踏み切り	通学路をどこにするかを検討する。
外浜街道	車両の交通量が多く、横断するときは配慮が必要である。
畑道	人通りが少ないときは、防犯上の対策が必要である。

2 義務教育学校の通学に係ることについて関心の高い事項又は課題と思われる事項について

令和7年9月に部会員を対象に義務教育学校の通学に係るアンケートを実施した。その中から徒歩通学・徒歩通学路の安全対策について抜粋した内容である。

関心の高い事項又は課題と思われる事項
県道178号線(大篠津停車場線)は、朝夕ともそれなりに交通量が多く、横断する際、交通指導員の配置が必要なのではないか。
バス通学は別として徒歩通学児童に対しての声かけは現在行っていることをさらに発展させ、見守りをより組織化し、児童と大人とのコミュニケーションの場を増やしたらと思う。
崎津小学校区の通学路の中には、歩道のないところも多いので、明確な表示をして車との区分をはっきりしておきたい。
崎津小学校区の通学路では道が狭く、路線バスが通っているために心配である。体力の低下についての意見も聞くが、安全面を考え、現在、車で送迎をしている。通学路の安全確保が必要である。徒歩通学から学ぶことが多いことも理解はしている。